

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2006年4～6月期)

## 第41回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成18年1～3月との比較）
  - （2）前年同期比（平成17年4～6月との比較）
  - （3）来期見通し（平成18年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	157社
回答率	31.4%
(業種別)	
製造業	56社
建設業	32社
卸売業	16社
小売業	23社
サービス業	30社
合計	157社

## (2) 実施時期

平成18年4～6月期（平成18年8月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは(景況判断指数)とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 // ) - (悪化 // )

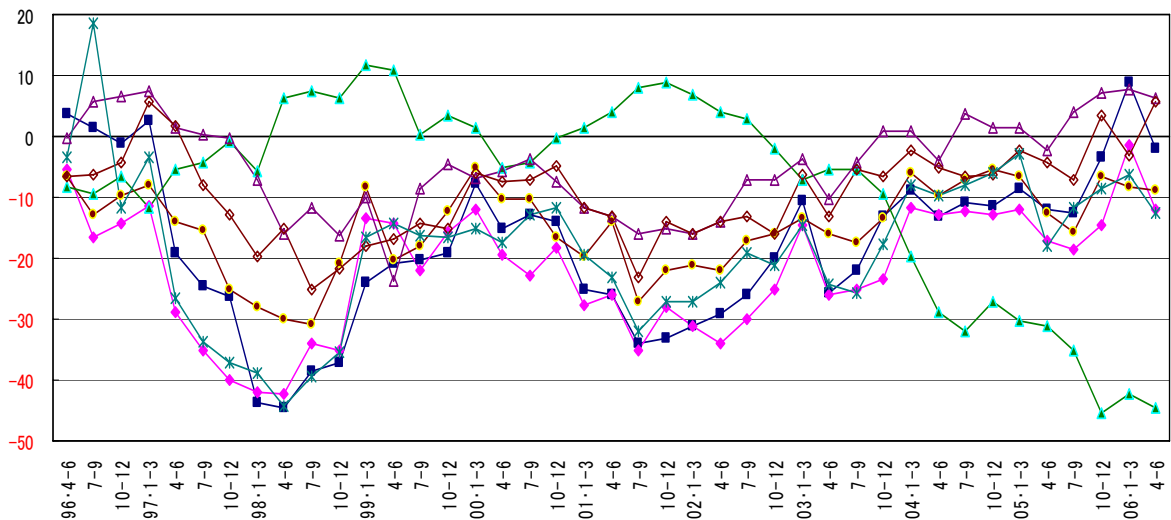
資金繰りD I = (好転 // ) - (悪化 // )

仕入価格D I = (下落 // ) - (上昇 // )

雇用状況D I = (不足 // ) - (過剰 // )

設備投資D I = (拡大 // ) - (減少 // )

業況D I = (好転 // ) - (悪化 // )



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6
■売上	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9
◆採算	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1
●資金繰り	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9
▲仕入価格	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6
△雇用状況	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4
◇設備投資	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7
*業況	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7

### 3. 概況

「年度末需要の反動で再び悪化だが、マイナス幅は縮小」

#### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前期に年度末があったということもあり、その反動で再び悪化に転じた（全業種）。

実に9年ぶりにプラスに転じた前年同期比のD I 値であるが、横ばい・悪化となってしまったものの、マイナス幅は一時に比べ縮小傾向にある。水準的には、小売業が依然として厳しい。一方では、製造業の設備投資意欲は旺盛で、その関連業種は好調のようである。

#### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、製造・サービス業が悪化を予想しているが、建設・卸・小売が回復予想。ただ、マイナス値がほとんどで、今ひとつ力強さは感じられない。相変わらず、原油価格の高止まりにより、仕入価格の悪化を予想している。

#### (3) 経営上の問題点

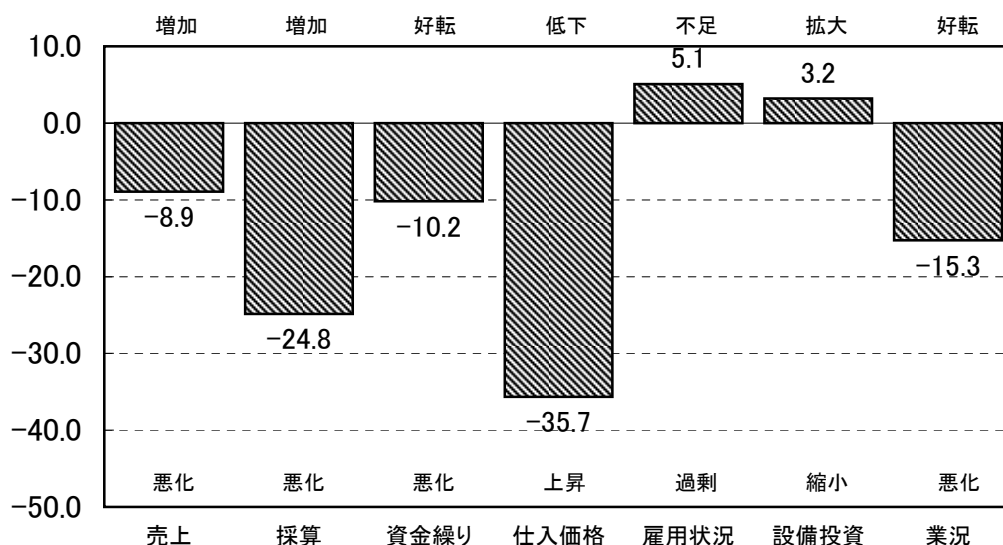
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、県内景気が本格回復になっていない模様。2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」の上位3つは前回のままとまっている。

#### (4) 今後の対応策

今回も、「新規市場を開拓したい」と「その他合理化を実施したい」が今後の対応策の二本柱。3位には前回同様に「人件費を削減したい」となっている。

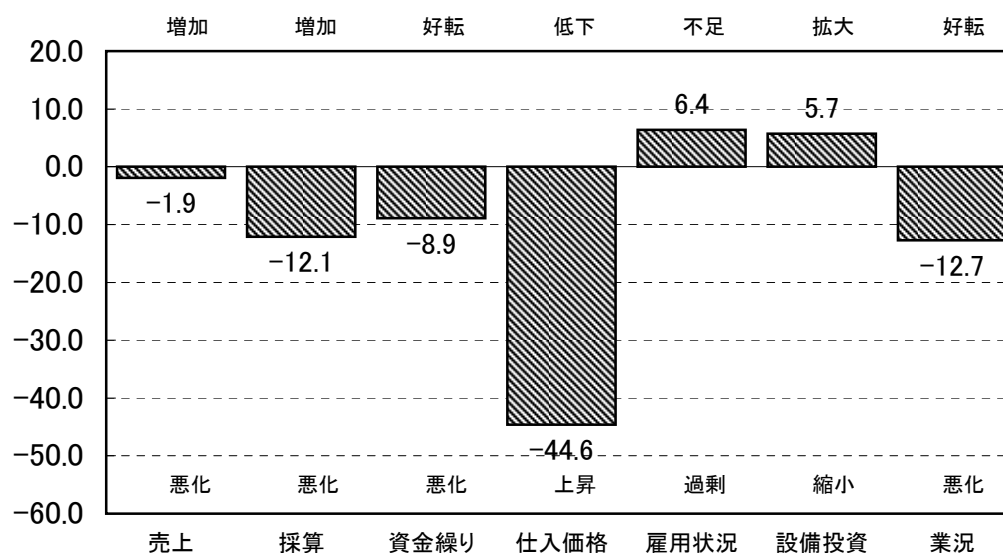
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成18年1～3月比)



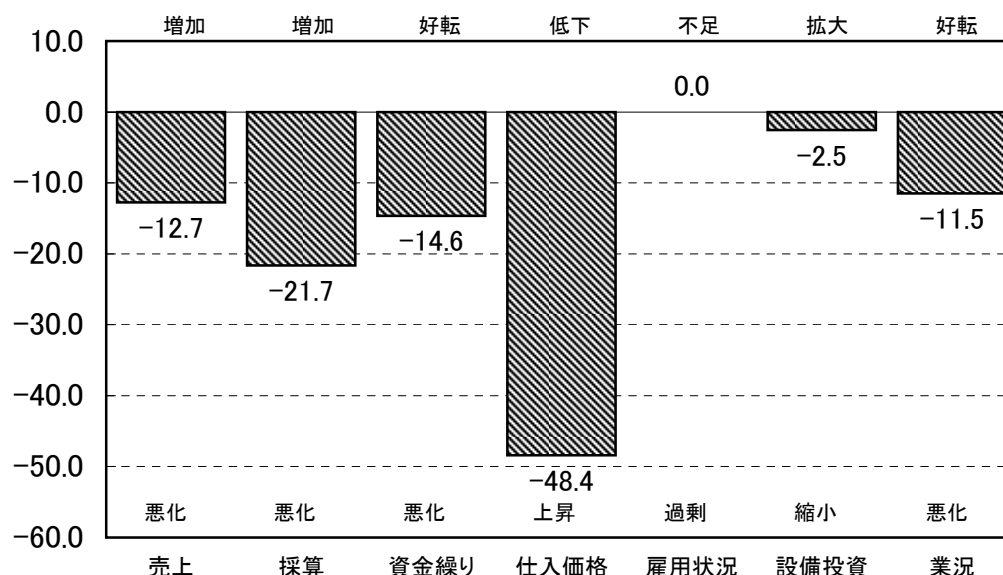
前期が年度末需要があったということもあり、今回調査のDI値は悪化を示した。売上は、製造業はかろうじてプラス値を維持するが、他業種はマイナス。他の項目では、製造業の設備投資意欲は回復傾向がみられる。

前年同期比(平成17年4～6月比)



前回調査より悪化しているものの、建設・小売業以外はプラスの値を示した。石油価格の高止まりの影響で仕入価格は悪数値だが、全体的にみると以前より回復している。

来期見通し(平成18年7～9月見通し)

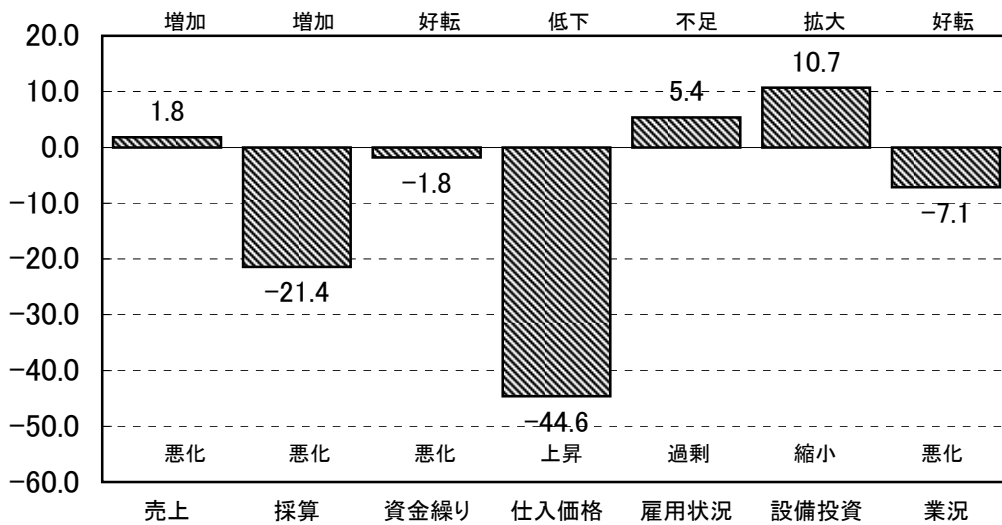


来期の見通しは、製造・サービス業が悪化を予想しているも、建設・卸・小売が回復予想。ただ、いずれもマイナス値がほとんどで、今ひとつ力強さが感じられない。

## 5. 業種別の景気動向

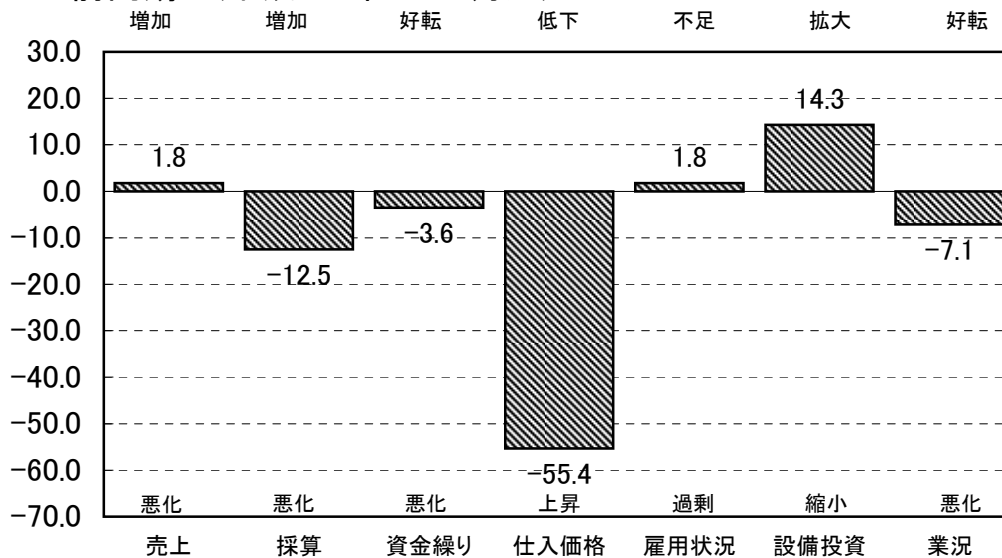
### (1) 製造業

前期比(平成18年1～3月比)



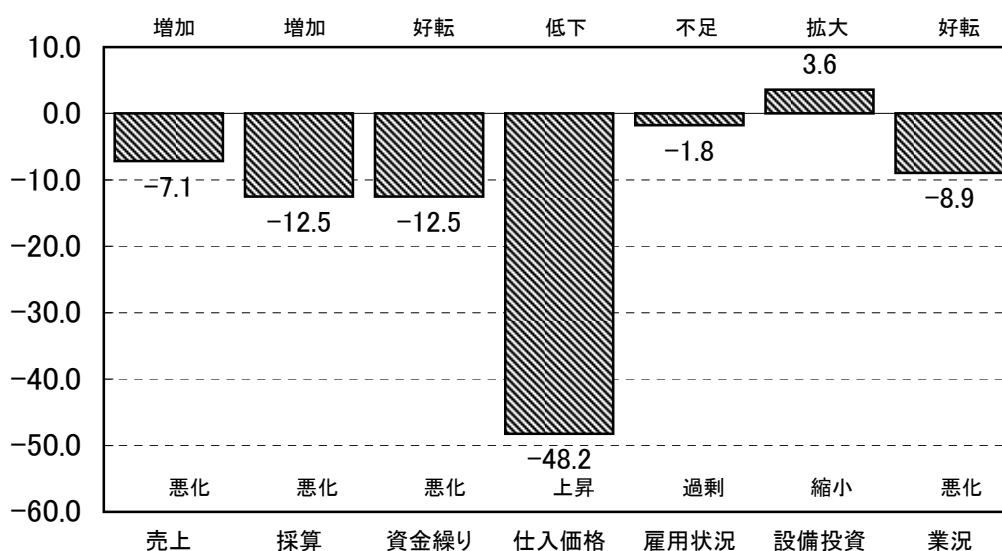
原油価格の高止まりの影響を受ける業態は厳しいものの、機械関係の製造は好調の様相。製造業自体の設備投資は上向きである。ただ、DI値自体は、前回調査より若干悪化がみられた。

前同期比(平成17年4～6月比)



DI値自体は、前回調査とほぼ同じ結果となった。前年同期も原料の高止まりにより、醤油・味噌、化学品等が悪化。一方では、機械装置・部品等が好調な模様。

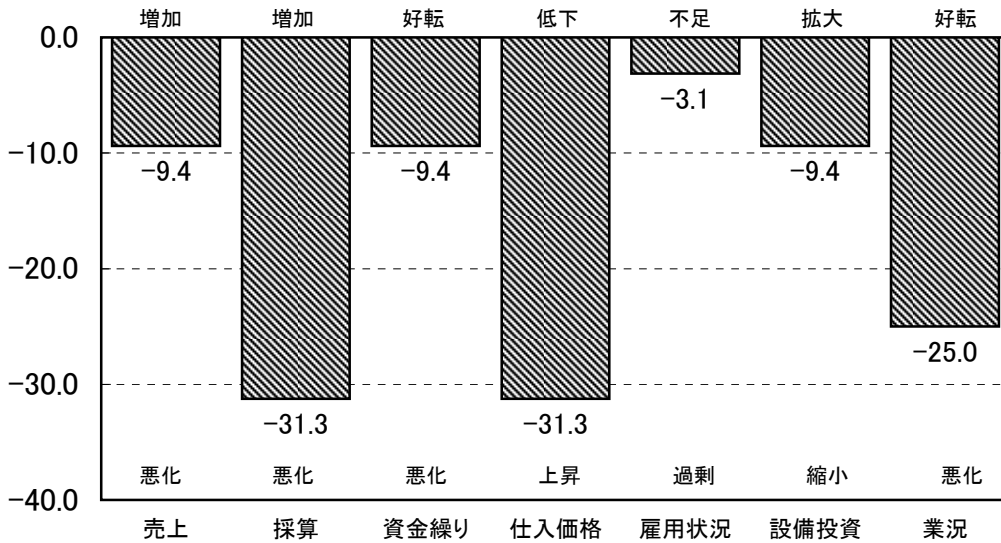
来期見通し(平成18年7～9月見通し)



こちらも機械器具等設備投資関連製造が好調。やはり、原材料値上げが響く業態が価格への転嫁ができず悪化を予想。業種全体では、前回調査より悪化し、売上・業況はマイナスとなった。

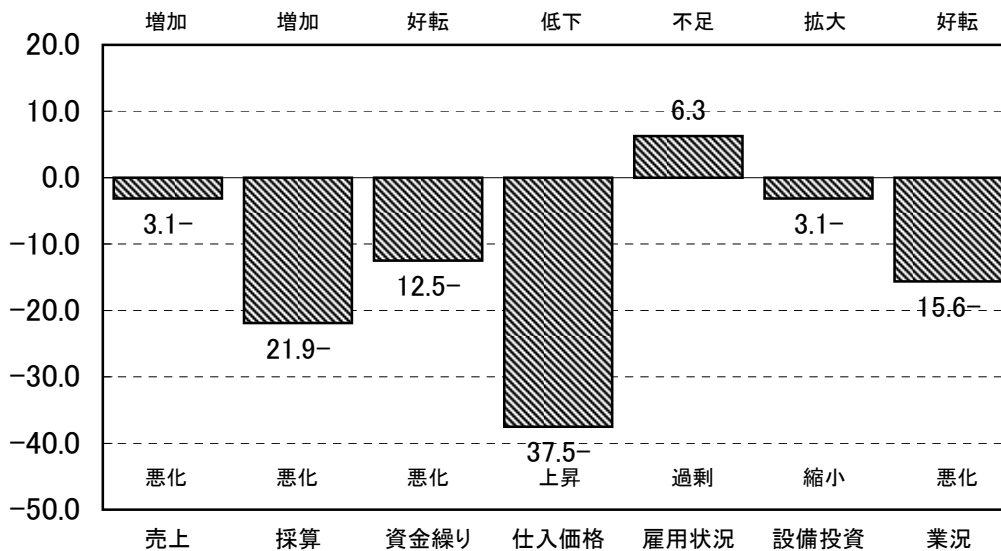
## (2) 建設業

### 前期比(平成18年1～3月比)



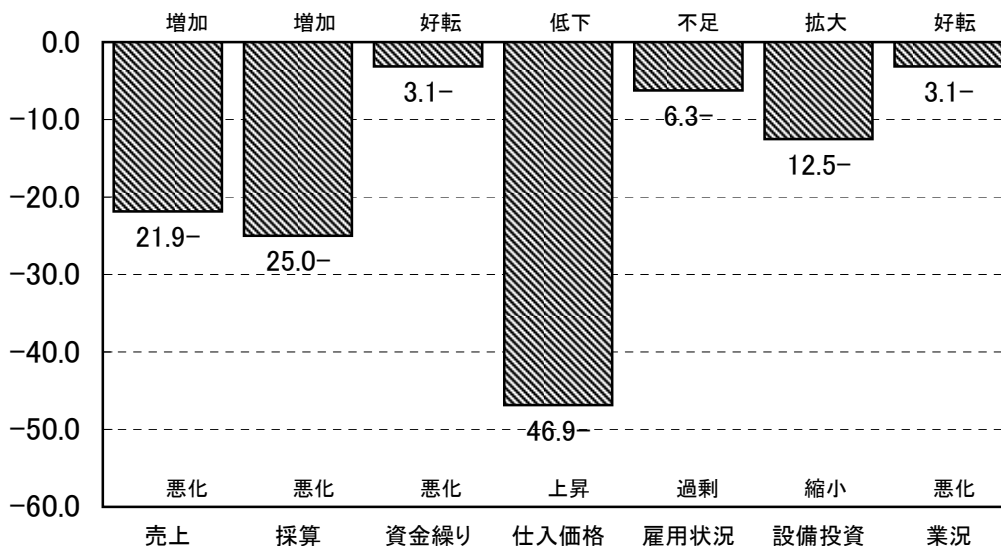
前期が年度末であったこともあり、今期の前期比D I値は悪化した。昨年からの台風災害復旧の仕事はあるものの、引き続き公共工事の減少が響いている模様。

### 前年同期比(平成17年4～6月比)



前回調査の売上が大幅プラスであった前年同期であるが、今回の調査ではマイナスに転じた。ただ、台風災害復旧工事もあり、そのマイナス幅は以前に比べて小さくなっている。

### 来期見通し(平成18年7～9月見通し)

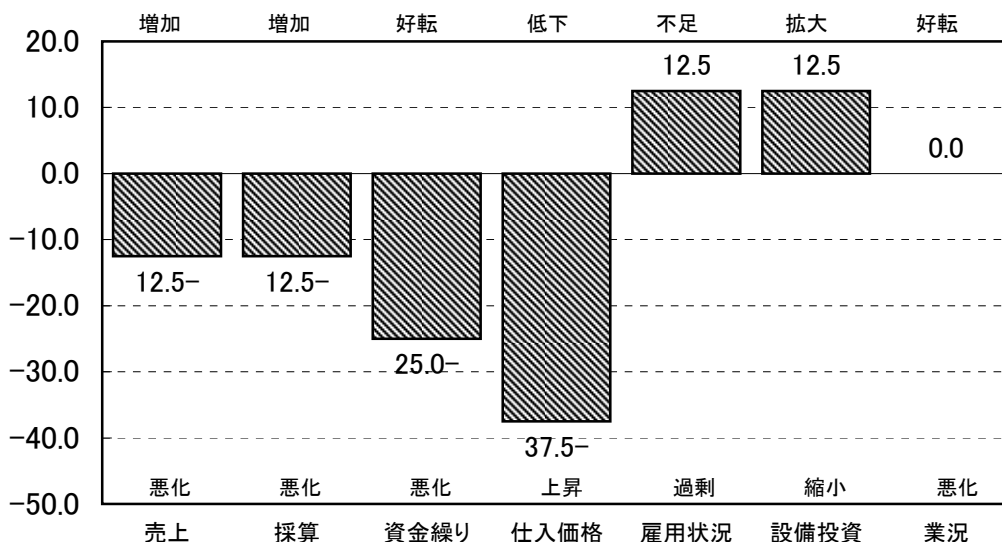


前回調査が年度末需要明けの見通しだったこともあり、今回の来期見通しは好転している。しかし、公共工事自体が減っているのは事実で、依然としてマイナス予想となっている。



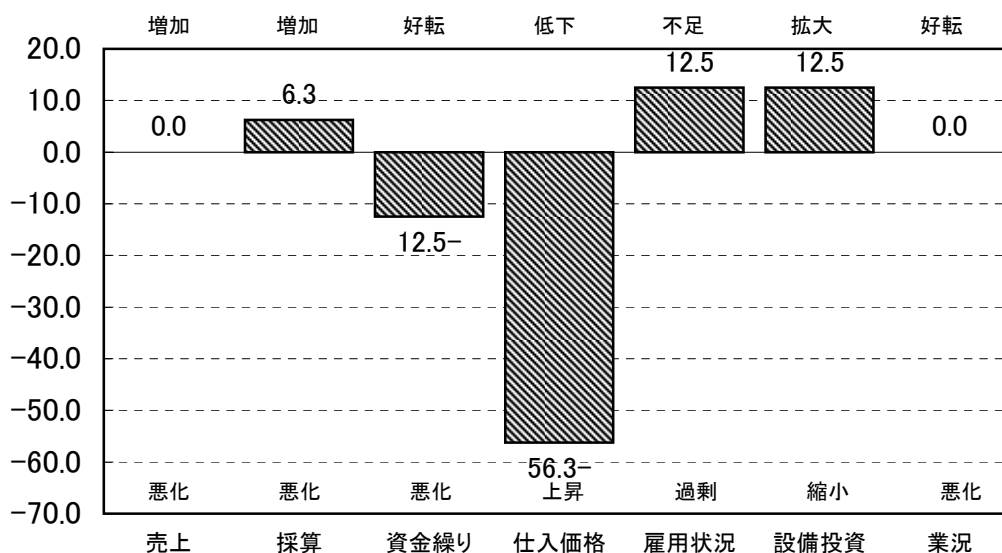
### (3) 卸売業

前期比(平成18年1～3月比)



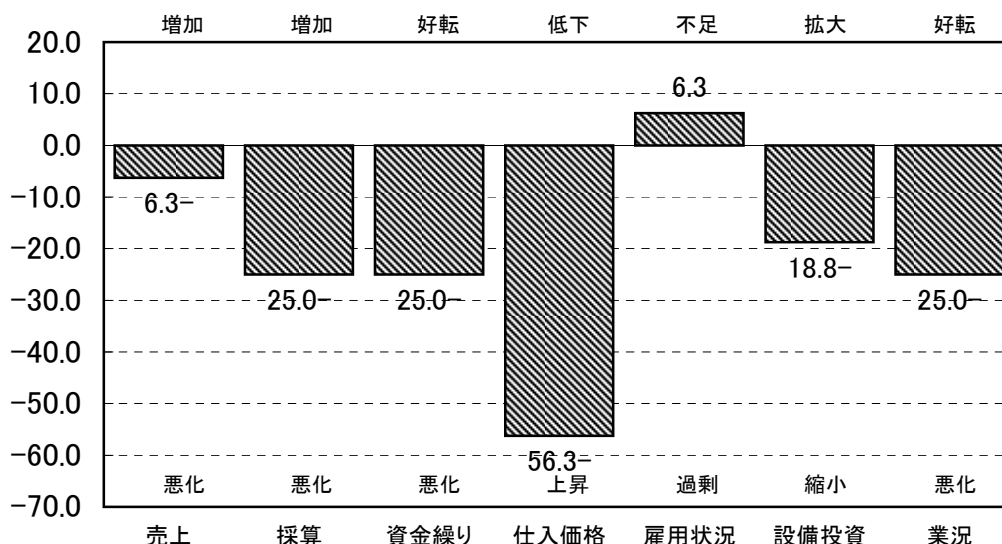
卸売の前期比DIの売上・業況はプラスに転じていたものの今回の売上高はマイナスとなった。前期が年度末の需要期であったこともあるが、以前に比べてマイナス幅は小さくなっている。

前年同期比(平成17年4～6月比)



前年同期比DI値も前回調査のプラス値から悪化したものの、売上・業況はゼロと以前に比べよくなっている。仕入価格は原油の高止まりの影響で厳しいものの、一方では設備投資意欲がみられる。

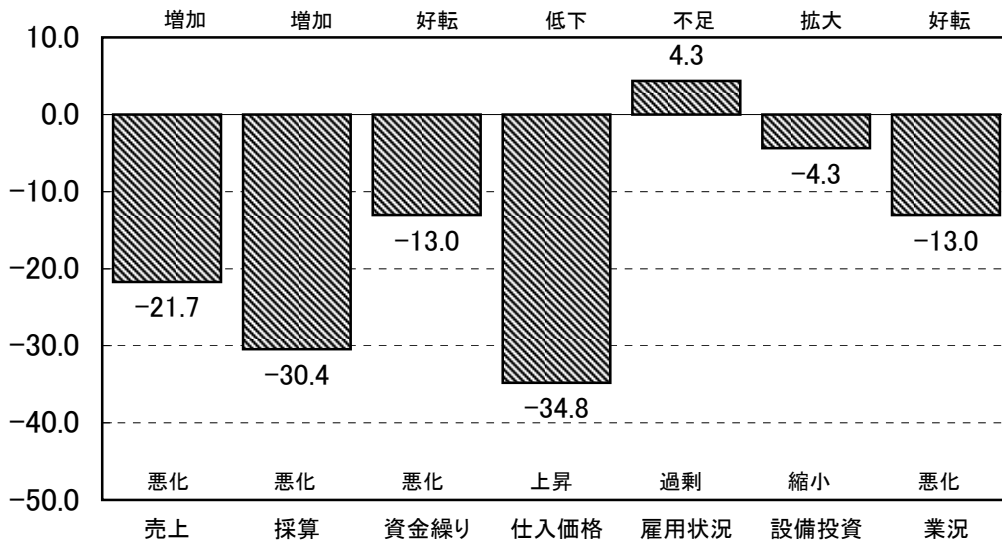
来期見通し(平成18年7～9月見通し)



前回調査では、年度末需要の反動で大幅なマイナス予想をしていたが、今回はそのマイナス幅が大きく減少(好転)。夏枯れや配送料の高騰も懸念されるが、この数値は明るい見通しとみてとれる。

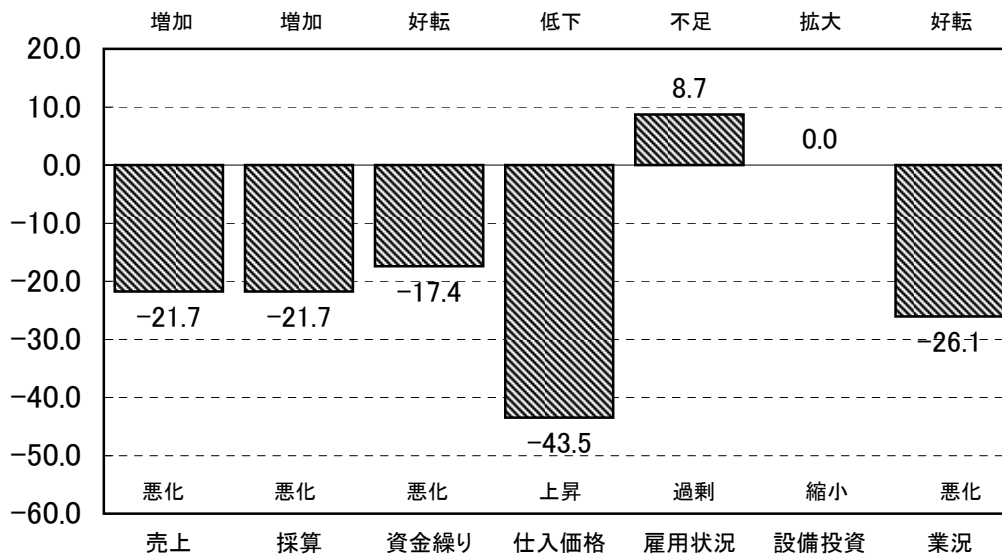
## (4) 小売業

前年比(平成18年1~3月比)



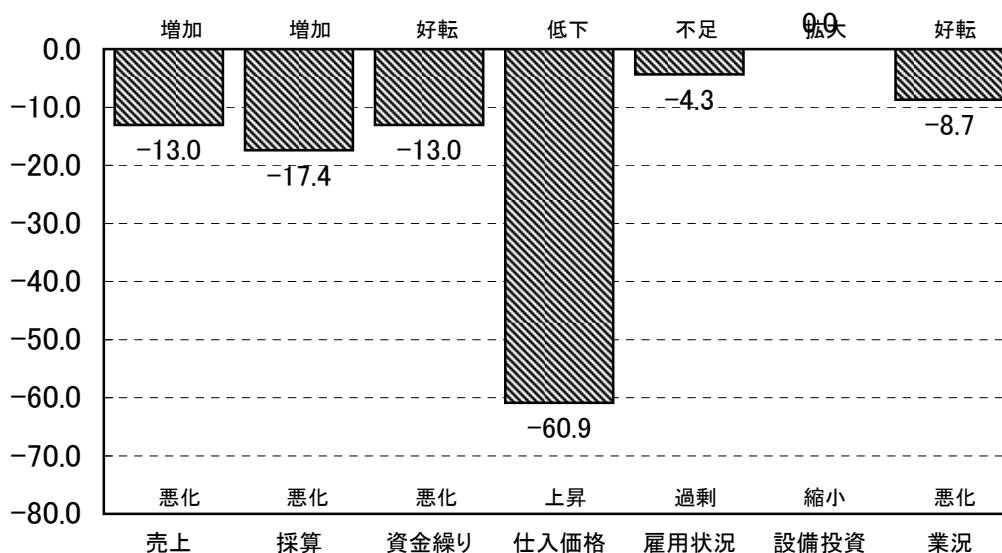
「入学用衣料品が売れた」とのコメントがあったものの、やはり年度末の反動か、前回調査より悪化している。  
「燃料高騰により車両の買い控え」（自動車販売）との声も聞かれた。

前年同期比(平成17年4~6月比)



仕入価格の高騰や「オール電化」の影響でガス関連が厳しいものの、前年同期比DIは、前回調査とほぼ同じ数値となった。個人消費はGDPの半分以上のウェイトを占めるだけに、もう少し好転して欲しいところ。

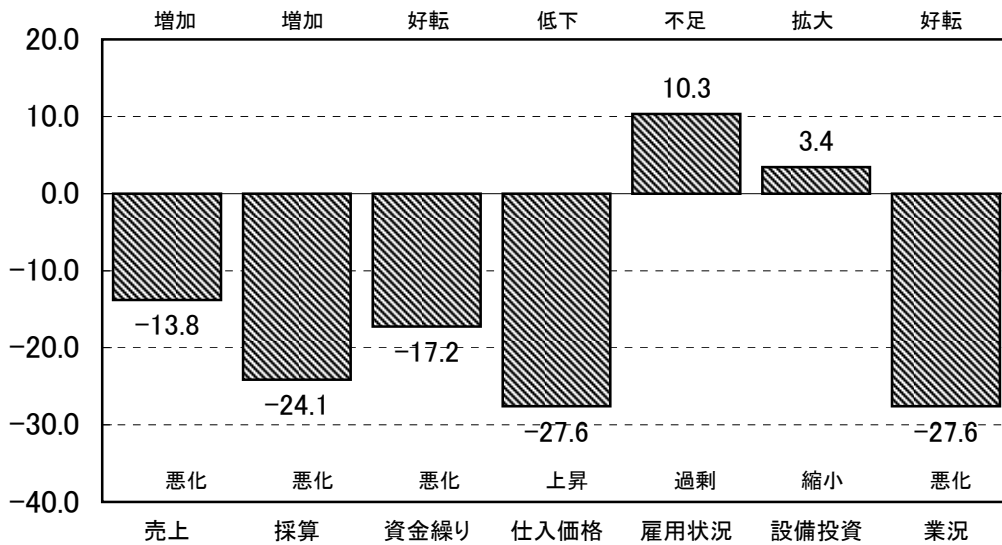
来期見通し(平成18年7~9月見通し)



前回調査が年度末明けの大幅マイナス予想であったのに比べて、今回調査は若干マイナス幅が減少。夏物商品に期待している一方、燃料高騰による仕入価格の影響を懸念している模様。

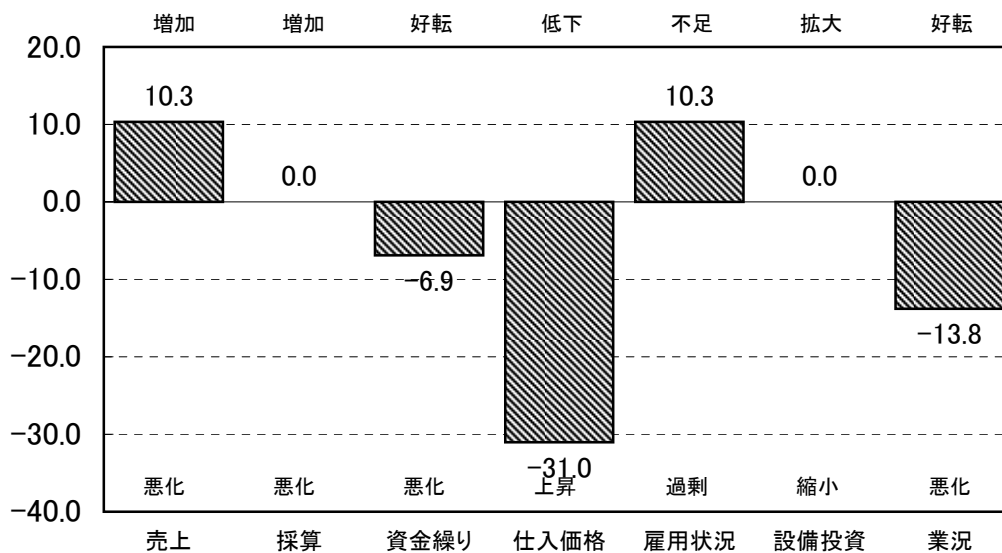
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成18年1~3月比)



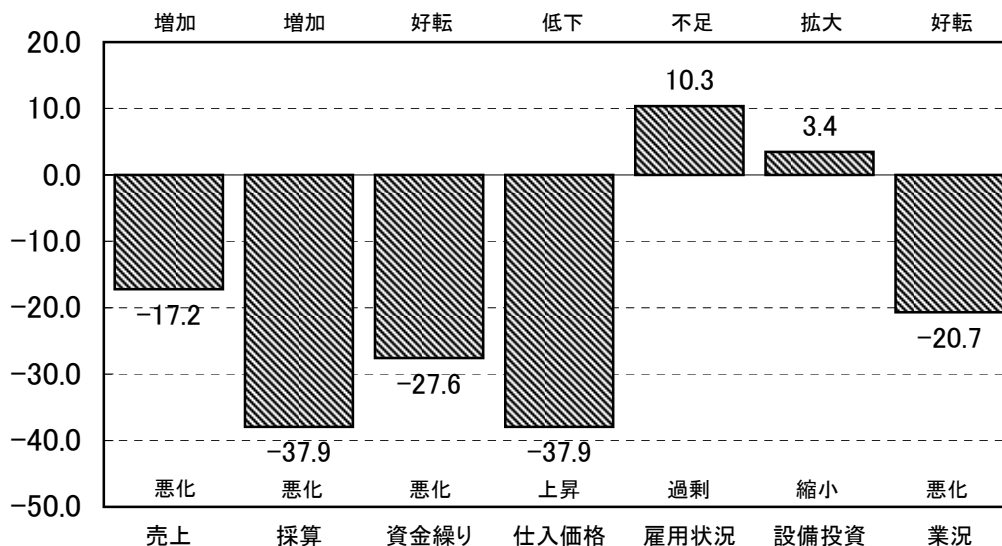
前回調査は売上がプラスになっていたサービス業であるが、今回調査ではマイナスとなってしまった。景気回復を感じる飲食業もみられるが、運送・貨物業を中心に燃料高騰が響いている模様。

前年同期比(平成17年4~6月比)



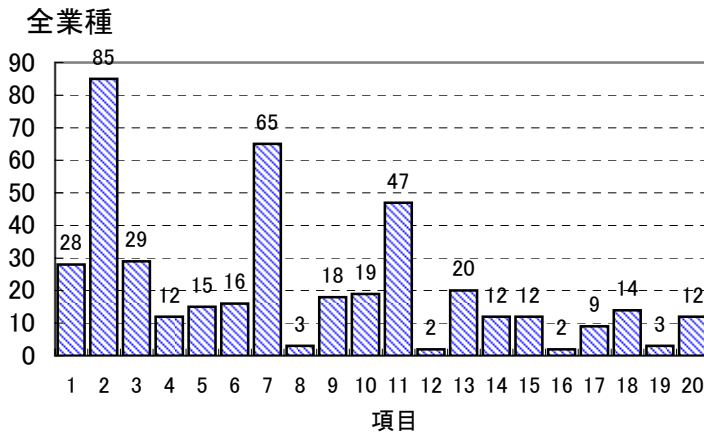
前回調査ほどではないが、売上はプラスを堅持。ただ、「去年が悪すぎ」(屋外広告)、「前年のほうが大型ツアーがあった」(宿泊)と業態によってバラつきがみられた。

来期見通し(平成18年7~9月見通し)



サービス業の来期見通しは、前回調査に比べ悪化となった。一部には、夏のシーズンに期待している業態(レストラン・自動車練習場)があるものの、原油の高止まりが直接・間接的に影響している模様。

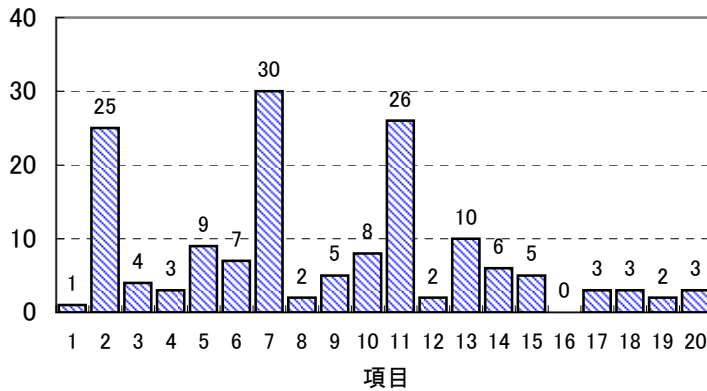
## 6. 経営上の問題点



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

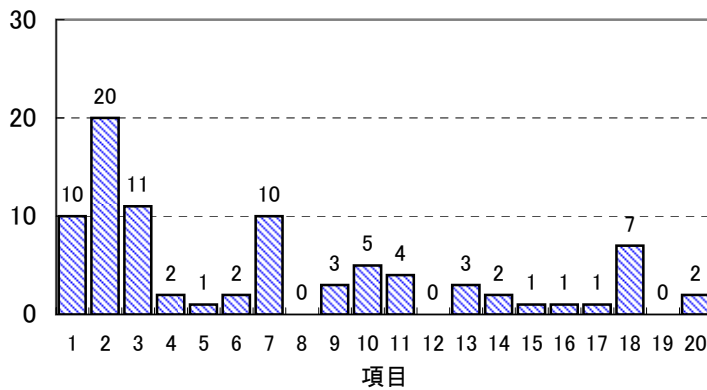
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



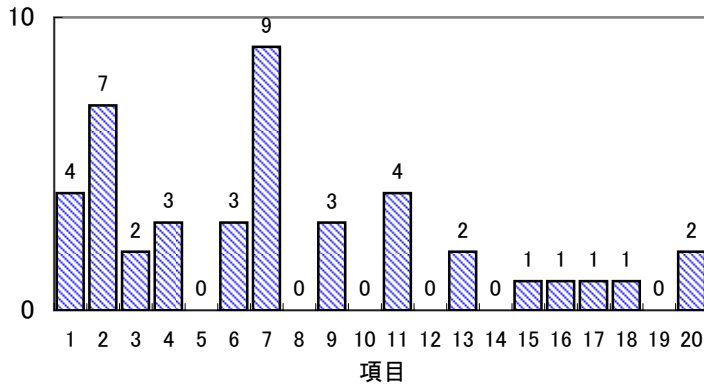
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 取引条件の悪化

項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

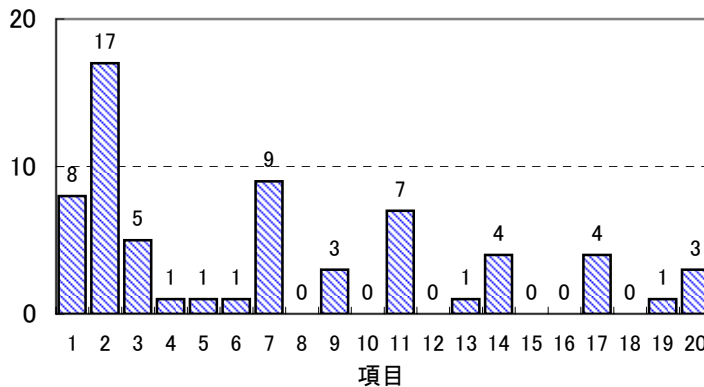
### 卸売業



#### 順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 新規参入業者の増加

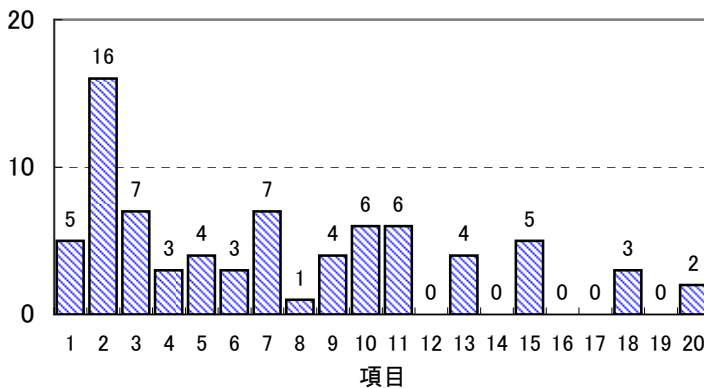
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

### サービス業



#### 順位

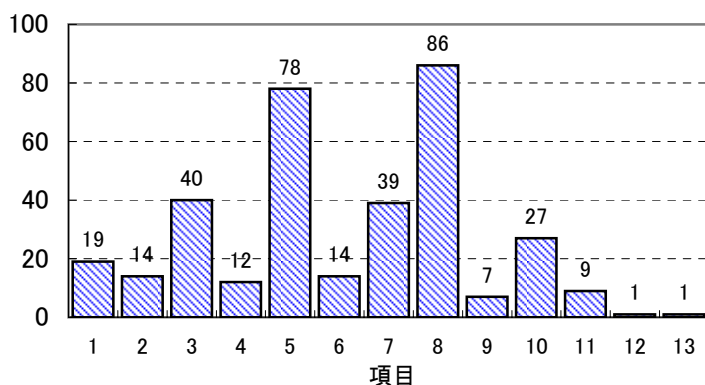
- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 人件費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

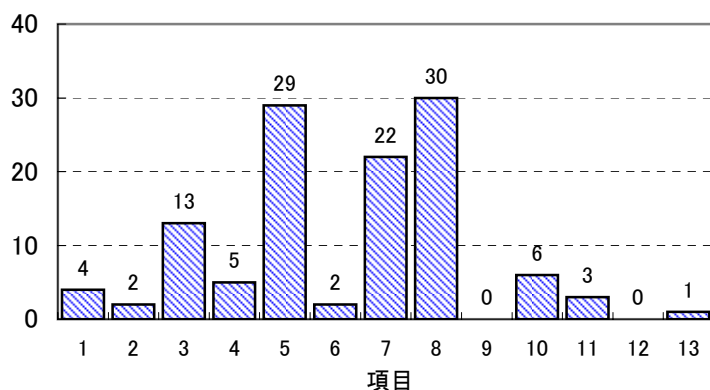
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

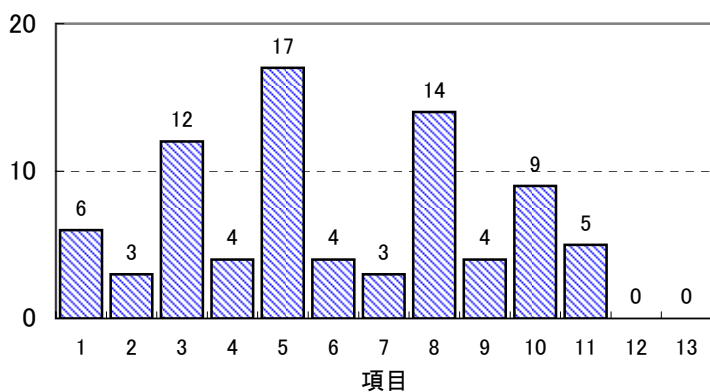
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



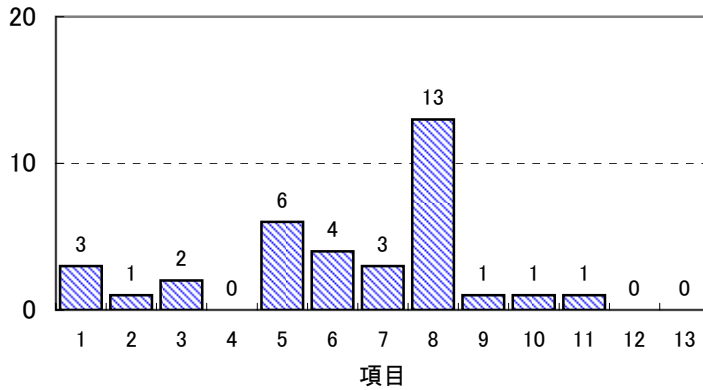
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

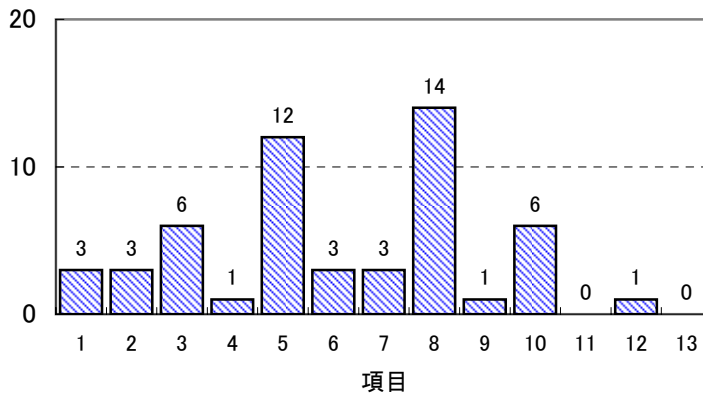
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 設備投資を縮小したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

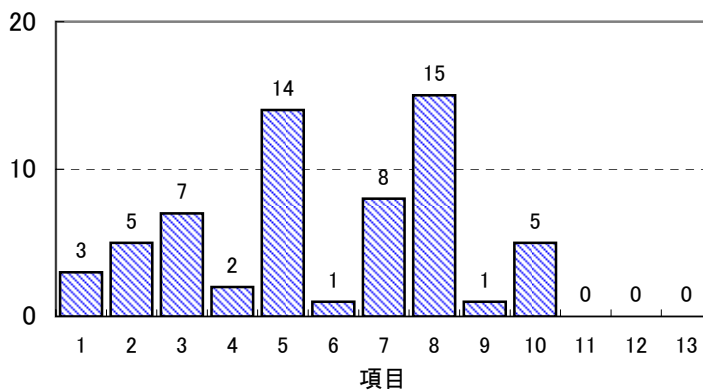
## 小売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 雇用調整を行いたい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             |                      |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	被服縫製業	都城	特になし
製造業	機械部品、金属加工	宮崎	公共工事を減少するより拡大して建設、土木業を良くしないと全体の企業が良くなる。
製造業	印刷業	延岡	祝祭日や有給が多すぎて、稼働日数内では、事業継続もやつのこと。結局は、正社員を減らし、パートやニートが増加するのみ。
製造業	印刷	延岡	税制が大企業有利に傾き、中小零細企業や個人の負担が、ますます大幅に増えていく現状を国はどう思っているのでしょうかね！！怒りを覚えるのは、私だけでしょうか！！
製造業	機械器具製造	延岡	少しずつ、景気は上向いてきたと感じておりますが、今後の動向が不安です（ガソリンの値上げ等）
製造業	鉄鋼業	日向	自由化のさらなる推進による電力価格の低減
製造業	砂糖製造・販売	日向	油の値段上昇に対する国の方針（具体的対策）を願う
製造業	コンクリート製品型枠	高鍋	消費税の負担が大きすぎる
製造業	製材、集成材	日南	その他 設備の更新をしてコストを下げたい
製造業	紙・パルプ製造	日南	少子化問題は日本の将来を左右する重大な案件である。最優先で取り組んでほしい。
製造業	婦人服製造小売	日南	売上増と季節変動による消費の減少など、それぞれによる資金難の解消の施策をお願いしたい。6103
建設業	タイル施工工事	都城	税金を大切にしたい。無駄な歳出、考えもできないような歳出があまりに多いことにビックリしています。公共機関は土日祭日が休みですが、民間人は、休みをもらい気を使い公共機関にいきます。人々のためというなら、年中無休にしてください。
建設業	建築工事業	宮崎	打つ手なしの分譲マンション林立市場宮崎。戸建て住宅を生業としている中小工務店への影響は大きく、廃業等の余波で将来、大工等の熟練工の確保が難しくなることも予想されます。県主導にて「県産材の更なる普及と利用促進」などのキャンペーンを張ってマンション建設に間接的ブレーキをかけて欲しいと思っておりますが、「既に遅し」の観もあります。
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	いくら要望しても、中小零細企業を考えた対策は講じられてもらえない。
建設業	土木建築工事請負	宮崎	地方にまで中央の好景気が波及しているとは思えない部分がある。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	総裁選、誰が総裁になっても、景気判断を地方にも目を向けて欲しい
建設業	建設業	延岡	公共工事予算の増額。道路税の確保。
建設業	土木工事業	延岡	延岡だけ、なぜ鉄道の高架事業をやらないのでしょうか。少し別角度からですが、何か起爆剤が無いと・・・（行橋・中津・別府・日向・都城・宮崎などは進んでいます・・・）
建設業	建設業	延岡	大企業、都会は景気が回復していると聞いている。建設業は、国、地方、公共団体の予算の節減により、従来にも増して、厳しい経営をしいられることになる。
建設業	建設業	日向	地方は公共投資を増やさないと景気回復にはならない。
建設業	鉄骨建築業	高鍋	国金・住金金利の引き下げ、融資拡大、安心返済国民のための友好的税金の使い方
卸売業	健康食品輸入販売	宮崎	国、日銀の判断と異なり、地方ではむしろ景気は悪化しているのではと感じられる。



卸売業	機械工具建設資材卸売	宮崎	県や国の物件ほど、入札に頼りすぎるあまり価格競争となり、適正価格の崩壊や、不必要と思うほどの資料や処理が多く、経費もかかる。かといって、地元業者を守る手段も講じず、利益は全くないと言っても過言ではない。また、入札の担当の方は実際の使用をしらないため、粗悪商品でも値段が安ければ落札される。行政が先頭になって地元業者を守る手段を考えて欲しい。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	地域格差の是正
卸売業	食品卸売	日向	日銀のゼロ金利が解除されましたが、直接金融の手段を持たない中小企業にとって、今後の金利上昇は深刻な問題となってきます。急激な金利上昇がない様、金利政策を行ってほしいと思います。
卸売業	建築資材販売	日向	仕入れ原価の値上り(石油類で製造製品がもっとも値上りをして来ている)その為利幅が少なくなる。需要減退の折、金利の上昇等で、金利負担が重くなる。原油の値上りで製品等の値上りは続くであろう。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	東九州自動車道の早期完成及びJR鉄道の複線化など交通網への基盤作り
サービス業	運送業	都城	景気の上昇に実感が無い。原油値上がりを抑制してほしい。
サービス業	貨物運送業	都城	原油が高騰しているが、供給安定化を図り、軽泊取引税の軽減をしてほしい。
サービス業	ホテル業	都城	スポーツ施設を充実し、大会、合宿を誘致し、県外の人々の来県、来市を増やす。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	宮崎においては、日銀や政府が発表している景気感が全然感じられない。やはり、地域間格差が表れていると思う。現在、旅館団体では中小公庫に対して、長期間(25~30年)・低金利(2%以内)の融資制度を要望している。
サービス業	飲食業	宮崎	景気は一段と冷え込み、東京・名古屋等首都圏との落差を感じます。橋通りを県外資本に地上げされ、植民地の様相です。宮崎山形屋新館オープンも間近、山形屋が核になり、街が賑わうことを願います。市民、行政の応援が肝心でしょう。
サービス業	ホテル業	延岡	ウイークデイは、各事業所の営業努力だが、ウイークエンドは、宿泊を伴うイベントが無ければ、お手上げ状態。施設の充実が最優先。
サービス業	クリーニング業	延岡	原油価格の値上りの為、燃料代や資材等も値上りし、こたえている。商品の値上げも考えているが、お客様のことを考えるとそれも難しい。
サービス業	飲食業	日向	世間で言われている好況感を感じる事はほとんど無くまだまだ都市部大企業だけにとどまっている感がある。業界的にも企業によつての格差はあり、国、県に何かの要望をする前に自社での企業努力を行っていききたい。
サービス業	レストラン	高鍋	大企業や公務員の不正が目立つ。何をやってももうかれれば良いでは日本の将来が思いやられる。企業人として徳育の社員を育て、会社もともに伸びていきたい。時代を担う青少年の問題も、高齢化、少子化の時代の中で、景気が大きく左右されます。高鍋の街に外からのお客様を呼び込む工夫が、行政を含め早急に取り組む課題ではないでしょうか。
サービス業	自動車練習場	日南	燃料(軽油・LPガス)の高騰をどうにかしてほしい。
サービス業	屋外広告物製作	日南	インフレ誘導
サービス業	警備保障	日南	同業種は、業務によって設備投資を必要とする。国・県・市の委託で実施中。年ごとに委託会社に変更になれば赤字状態になる。数年は継続が依頼料を増額希望する。
サービス業	温泉浴場	串間	景気回復を願い消費税を上げることは好ましくない